

「麻薬取扱者の年間届 届出要領」

1 届出を要する者

本年9月30日現在、次の免許を有する者

- (1) 麻薬小売業者
- (2) 麻薬管理者
- (3) 麻薬管理者を設置していない麻薬診療施設（病院、診療所、飼育動物診療施設）
にあつては麻薬施用者
- (4) 麻薬研究者

2 届出書の提出場所・期間

- (1) 提出場所
業務所を管轄する保健所（保健部）
- (2) 提出期限
本年11月30日まで

3 届出書の様式と提出部数

- (1) 年間届の様式
様式第4号（A4判）によること。
- (2) 提出部数 2部
※提出するものとは別に各自で控え（コピーなど）を保管してください。

4 届出書の記入要領

- (1) 前年10月1日から本年9月30日までの期間中、麻薬の受払及び在庫がない者も、年間届の書式の中で所有する麻薬の欄に「在庫受払いなし」と記載するか、斜線を引くかして届出を行うこと。
- (2) 「品名」欄
 - ア 同じ品名のものであっても剤型や含有量が異なれば、別品目として記載してください。
 - イ 自家予製剤の%散、液は原末に換算することなく、それぞれ別品目として記載してください。
 - ウ コデインリン酸塩（家庭麻薬として購入したものを除く。）等所有するすべての麻薬について報告してください。
- (3) 「単位」欄
単位欄には次のとおりとすること。
 - ・原末、散剤の場合は グラム（又はg）、包

- ・液剤、チンキの場合は ミリリットル（又はmL）、包
- ・アンプル製剤の場合は アンプル（又は A）
- ・バイアル製剤の場合は バイアル（又は V）
*分注する場合はミリリットル（又はmL）
- ・錠剤の場合は 錠（又はT）
- ・カプセル剤の場合は カプセル（又はC a p）
- ・顆粒剤の場合は 包（又はg）
- ・坐剤の場合は 個（又はコ）
- ・貼付剤の場合は 枚

(4) 「前年10月1日在庫数量」欄

前年度に提出した麻薬年間届の「本年9月30日在庫数量」と一致していることを確認して記入すること。

(5) 「前年10月1日から本年9月30日までの受入数量」欄

ア 麻薬小売業者の場合

麻薬卸売業者から譲り受けた麻薬、残余麻薬譲渡届により譲り受けた麻薬、及び麻薬小売業者間譲渡許可に基づいて譲り受けた麻薬の数量の合計を記載してください。また、麻薬小売業者間譲渡許可に基づいて譲り受けた麻薬の数量の合計を内数として括弧書きで併記してください。

麻薬小売業者間で麻薬を譲渡、譲受した場合

[帳簿例]

品名	デュロテップパッチ5mg			単位	枚
年月日	受入	払出	残高	備考	
H26. 10. 1			5	前帳簿から繰越し	
10. 3	5	10	0	○田×夫 △△薬局から譲受	
10. 4	20		20	○□薬品大分支店より購入 (ロット番号)	
H27. 1. 16		10	10	○中△子	
1. 17		5	5	××薬局へ譲渡	



<上記帳簿の年間届への記入例>

(麻薬小売業者間での譲渡譲受分は合計欄に内数として括弧書き)

品名	単位	前年10月1日 在庫数量	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日 在庫数量	備考
			受入数量	払出数量		
デュロテップパッチ 5mg	枚	5	25(5)	25 (5)	5	

イ 麻薬管理者・麻薬施用者の場合

麻薬卸売業者から譲り受けた麻薬、残余麻薬譲渡届により譲り受けた麻薬の数量を記載してください。また、外来又は入院患者等から譲り受けた麻薬患者からの麻薬（返納、持参薬）の数量は、受入数量に含めなくて、（ ）書きで別掲としてください。

入院患者より譲り受けた麻薬の場合

[帳簿例]

品名	MSコンチン錠10mg			単位	T
年月日	受入	払出	残高	備考	
H26. 10. 1			75	前帳簿から繰越し	
10.3	*(10)		85	○山×男より返納	
H27. 5. 1	200		285	○□薬品大分支店より購入 (ロット番号)	
8. 16		14	271	○本△夫	
8.17	(8)		271	○本△夫より返納 H27.8.17 廃棄 H27.8.17 調剤済麻薬廃棄届提出 立会者 ○○ ○○	
8.22	(5)		271	□村□郎 転入院時持参・継続施用	

↓

<上記帳簿の年間届への記入例>

品名	単位	前年10月1日 在庫数量	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日 在庫数量	備考
			受入数量	払出数量		
MSコンチン10mg	錠	75 【a】	200 【b】	14 【c】	271 【d】	
MSコンチン10mg	錠		(23)			10【e】錠再利用

(a+b-c+e=d、eは再利用予定分も含む)

ウ 麻薬研究者の場合

麻薬研究施設の設置者が麻薬卸売業者等から譲り受けた麻薬の数量を記入してください。

(6) 「前年10月1日から本年9月30日までの払出数量」欄

ア 麻薬小売業者の場合

麻薬処方せんを所持した者に譲り渡した麻薬の数量と麻薬小売業者間譲渡許可に基づいて譲り渡した麻薬の数量の合計を記載してください。また、麻薬小売業者間譲渡許可に基づいて譲り渡した麻薬の数量の合計を内数として括弧書きで併記してください。

麻薬廃棄届を提出して廃棄した数量、及び事故にあった数量も払出数量に計上してください。**調剤済麻薬廃棄届を提出した麻薬については、計上する必要はありません。**

麻薬小売業者間で麻薬を譲渡、譲受した場合

[帳簿例]

品名	デュロテップパッチ5mg			単位	枚
年月日	受入	払出	残高	備考	
H26. 10. 1			5	前帳簿から繰越し	
10. 3	5	10	0	○田×夫 △△薬局から譲受	
10. 4	20		20	○□薬品大分支店より購入 (ロット番号)	
H27. 1. 16		10	10	○中△子	
1.17		5	5	××薬局へ譲渡	



<上記帳簿の年間届への記入例>

(麻薬小売業者間での譲渡譲受分は合計欄に内数として括弧書き)

品名	単位	前年10月1日	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日	備考
		在庫数量	受入数量	払出数量	在庫数量	
デュロテップパッチ 5mg	枚	5	25 (5)	25(5)	5	

イ 麻薬管理者・麻薬施用者の場合

施用し、又は施用のため交付した麻薬の数量を記載してください。

麻薬廃棄届を提出して廃棄した数量、及び事故にあった数量も払出数量に計上してください。**調剤済麻薬廃棄届を提出した麻薬については、計上する必要はありません。**

ウ 麻薬研究者の場合

研究のために使用した麻薬の数量を記載してください。

麻薬廃棄届を提出して廃棄した数量、及び事故にあった数量も払出数量に計上してください。**調剤済麻薬廃棄届を提出した麻薬については、計上する必要はありません。**

(7) 「備考」欄

ア 病院、診療所で再利用した麻薬があった場合

病院、診療所で再利用した麻薬があった場合には、備考欄にその数量を記載してください。

再利用した麻薬の場合

<帳簿例>

品名	MSコンチン錠10mg			単位	T
年月日	受入	払出	残高	備考	
H26. 10. 1			75	前帳簿から繰越し	
10.3	*(10)		85	○山×男より返納	
H27. 5. 1	200		285	○□薬品大分支店より購入 (ロット番号)	
8. 16		14	271	○本△夫	
8. 17	(8)		271	○本△夫より返納 H27. 8. 17 廃棄 H27. 8. 17 調剤済麻薬廃棄届提出 立会者 ○○ ○○	
8. 22	(5)		271	□村□郎 転入院時持参・継続施用	

↓

<上記帳簿を年間届に記入した例>

品名	単位	前年10月1日 在庫数量	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日 在庫数量	備考
			受入数量	払出数量		
MSコンチン10mg	錠	75 【a】	200 【b】	14 【c】	271 【d】	
MSコンチン10mg	錠		(23)			10錠再利用【e】

(a+b-c+e=d、eは再利用予定分も含む)

イ 残余麻薬譲渡届で譲り受けた麻薬があった場合

残余麻薬譲渡届で譲り受けた麻薬の数量は備考欄に記載してください。

<記入例>

品名	単位	前年10月1日 在庫数量	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日 在庫数量	備考
			受入数量	払出数量		
塩酸モルヒネ注 (10mg)	A	12	15	11	16	〇年〇月〇日、 〇〇医院の閉院により 残余麻薬5A譲受

ウ 麻薬廃棄届及び麻薬事故届による払出

麻薬廃棄届を提出して廃棄した数量、及び事故にあった数量は備考欄に記載してください。

<記入例：オピスコ注8 Aを廃棄した場合>

品名	単位	前年10月1日 在庫数量	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日 在庫数量	備考
			受入数量	払出数量		
オピスコ注	A	18	10	8	20	〇年〇月〇日8A廃棄 〇年〇月〇日麻薬廃棄届済

<記入例：事故による払出の場合>

品名	単位	前年10月1日 在庫数量	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日 在庫数量	備考
			受入数量	払出数量		
塩酸モルヒネ注 (10mg)	A	12	10	11	11	〇年〇月〇日A 事故届出済

エ 倍散等の記入は次のとおりとすること。

倍散及び倍液は原末と別個に品目及び予製剤別に項目を設け、受払数量を記入することとし、次の記入例によること。

(ア) 製品である倍散を購入し、施用している場合

(記入例…リン酸コデイン10倍散300gを購入した場合)

品名	単位	前年10月1日 在庫数量	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日 在庫数量	備考
			受入数量	払出数量		
リン酸コデイン 10倍散	g	25.5	300	317.5	8	

(イ) 原末を倍散等に予製し、施用している場合

原末の項の払出の欄には倍散を予製するのに使用した原末の数量を、又倍散の項の受入欄には原末から予製した倍散の数量を記入すること。

(記入例…リン酸コデイン原末123.5gを使用し10倍散1,235gを予製した場合)

品名	単位	前年10月1日 在庫数量	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日 在庫数量	備考
			受入数量	払出数量		
リン酸コデイン末	g	28.5	125	123.5	30	
リン酸コデイン 10倍散	g	15	1,235	1,223	27	

(ウ) 原末から予製した倍散と購入した倍散を併用している場合

原末の項の払出の欄には倍散を予製するのに使用した原末の数量を、又倍散の項の受入欄には原末から予製した倍散の数量と製品である倍散の購入量の合計を記入すること。

(記入例…リン酸コデイン原末 8.3g を使用して、リン酸コデイン 10 倍散 83g を予製する一方、別に「リン酸コデイン 10 倍散」200g を購入した場合)

品名	単位	前年10月1日	前年10月1日から本年9月30日までの		本年9月30日	備考
		在庫数量	受入数量	払出数量	在庫数量	
リン酸コデイン末	g	3.3	25	8.3	20	
リン酸コデイン 10倍散	g	10	283	265	28	

オ 自主回収品について

自主回収された麻薬がある場合は、回収された麻薬の数量、九州厚生局発行の許可書の許可番号及び許可年月日を備考欄に記載すること。